

問題 2 2022 年 熊本県公立高校後期入試 大問 6 の 1(3)より

資料 31 は、病院での診療の際に病院から受け取った請求書兼領収書の一部である。資料 31 に示された点数は、診療にかかった医療費を 10 円ごとに 1 点として表したものである。下のア～エのうち、資料 31 に関する制度の説明として適当なものをすべて選び、記号で答えなさい。

◀県教委分析による正答率:25.1%▶

資料31

請求書兼領収書			
氏名 ○○ ○○ 様		令和4年2月10日	
初診・再診料	医学管理等	投薬料	検査料
125 点	137 点	123 点	420 点
保険合計点数		保険内請求額	領収金額
805 点		2,420 円	2,420 円
〒○○○-○○○○ 熊本県熊本市中央区○○町○○丁目○○番○○号 医療法人○○会 ○○病院 Tel 096-○○○-○○○○			領収 4.2.10 ○○病院

- ア この診療で、実際にかかった医療費の総額は、8,050 円である。
- イ この診療で、公的な医療保険で支払われる費用は、保険加入者の保険料ですべてまかなわれる。
- ウ この診療で利用されている公的な医療保険は、加入するかどうかを選択できる。
- エ この診療で利用されている公的な医療保険は、雇用保険と同じ社会保険の一つである。

★解説

1 設問の間われている部分を確認

⇒制度の説明として適当なものをすべて選ぶ。

条件となっている部分を確認

⇒資料 31 を活用すること。医療費は 1 点が 10 円。

2 資料から答えにつながる部分を見つける

⇒保険合計点数 805 点

3 見つけた部分をもう一度問題に照らし合わせる

⇒ア 1 点が 10 円なので、805 点×10 円=8,050 円となる。 →適切

イ 公的な医療保険は、保険料と国の税金からも支払われている。 →不適切

ウ 公的な医療保険は、国民全加入である。 →不適切

エ 公的な医療保険は、社会保険である。 →適切

正解: ア、エ

★POINT

- ① 普段の生活と結びついた資料の内容を読み解く問題となっている。
- ② 社会保障制度は、入試の題材になりやすい。